

(様式第4号) 上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会審議会 会議概要

1	審議会名	第2回 第二次上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会
2	日時	平成27年9月30日(水) 午前10時00分から午前12時00分まで
3	会場	上田市教育委員会第1会議室
4	出席者	児玉会長、岩下副会長、大滝委員、宮下委員、松橋委員、間島委員、畑中委員、小宮山委員、竹花委員、南村委員、小林委員、増田委員、吉田委員、上沢委員
5	市側出席者	文化振興課長、文化振興課職員、 交流文化芸術センター副館長、博物館長、美術館職員
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成 27年10月7日

協議事項等

- 1 開 会 (文化振興課長)
- 2 会長あいさつ (児玉会長)
- 3 報告事項
- (1) 配布資料等の説明について <事務局説明>
  - ア 資料1 市内各文化協会の団体数、委員数の推移  
(会長)減ってきている要因として、事務局はどのようにお考えか。  
(事務局)年齢が高齢化、連携(連合)組織の運営が難しいのではないか  
(委員)上田市文化芸術協会はどのような団体か?  
(委員)民踊、華道、吟詠協会、三曲協会、演劇、茶道、墨風会、ダンス、クラシックバレエ等が加入している団体です。
  - イ 資料2 平成26年度公民館ごとの主な事業  
・・・別冊「平成26年度 公民館活動記録」
  - ウ 資料3 文化芸術の振興に関する基本的な方針 (第4次基本方針)ポイント
  - エ 資料4 第二次総合計画」と「現状と課題」を整理した資料
  - オ 補足説明 第二次総合計画における「風格漂う」について  
(事務局)「風格漂う」の表現には、「まちの品格」、「まちの趣」といった意味を含めております。この表現については総合計画審議会で議論され、最終的に計画に盛り込むこととなった。御理解いただきたい。
- (2) 策定委員のアンケートについて 資料5 <事務局説明>
  - (会長)市のメールの受信の都合で載せられなかった委員の説明をお願いします。
  - (委員)問1は、上田市博物館協議会です。問2は、市立博物館はNHKの大河ドラマ、真田丸の放映を間近に控え、当面の対応に追われている状況である。現在トイレの新設、旧山本鼎記念館の改修等が進められているが、真田丸以降のことを考えると課題は山積していると思われる。  
博物館施設の老朽化が目につく。博物館は展示設備ばかりでなく、資料保存のための収蔵庫が必要である。民俗資料や十万点におよぶ貴重な古文書類などが集積され、現在保存場所の確保が難しい状況である。また、専門職員数の少なさも、博物館活動の制約になっていると思われる。
  - 問3は、老朽化の目立つ博物館の建て替えや図書館・博物館等のスタッフは専門知識を求められる。また、長期的な人材の確保と育成、公文書館の設置の検討が必要です。
  - (委員)2の団体で、問3の今後必要と思われる施策ですが、上田市あるいは上田地域で、どんな作家の方がいるのか分かれば良いと思う。全国で美術大学の教授で活躍されている方がいるので、そういう方々の展覧会をすること等が上田市の誇りになる。  
美術館独自の展覧会は、市としてどのように美術を考えているのかとの裏返しとなるが、もっと明瞭にしたらどうか。文化財団も県内では、長野、松本、須坂、塩尻、岡谷とあるが、上田市も文化芸術を考えるとバックアップや市民に振興していくには必要ではないか。
  - (委員)12の内容で、各地域で質の高いものを提供してきたので、その特性を活かしてそれぞれが

連携をとりより良い方向へとの意味です。

#### 4 協議事項

##### (1) 現状と課題について

～ 最初に文化芸術関係から 資料4 6ページ ～

(会長) 事業者などの企業メセナなどの支援とはどのようなものがあるのか。

(事務局) 現在、企業メセナとして継続的に、企業独自の事業としては行われておりません。

なお、企業メセナではありませんが、企業からの寄附による公演の開催や協賛による事業運営など行われてきています。

～ 7ページ 基本施策1、2 ～

(事務局) 心配している点が8ページの の中で、教育委員会が行っている文化支援事業ですが、市民の皆さんが独自に考えて、自分たちが主催して行う鑑賞事業等に対して補助をする制度です。近年申込者が減少してきている。原因が、支援の仕方なのかそういう人材が減ってきているのか分からない。大きな課題と捉えている。

(委員) 一時、映画祭のようなものを企画してみてもとの話がありましたが、ひとつの自治会では無理との話になりました。このような制度があれば実現ができたかもしれない。

(会長) なかなか広報だけでは周知できていないので周知の方法は考えたほうが良い。

(委員) こういう事業があることを、広報されていても一般の市民は知らないのではないかと。認知度を上げる努力が必要でないか。

(委員) 私は、施設を運営しているので申し上げますが、文化支援事業のメリットは、施設使用料が半額になるところです。また、事業が終って赤字分の半額補助という保険的な形のものでありますので、申請して上手くやれば補助はいらぬ場合もある。昔は民間企業も力があったから良かったが、現在は、もう少し厚めのサポートをしないと動きづらい。

(事務局) 委員の説明のとおり、チケット収入で賄えられれば良いが、事業費からチケット収入等を差し引いた額の1/2を補助するものです。

(委員) 補助金は最後の最後でないでよい。わがまち魅力アップでは、最初に8割がでる。県や企業メセナもそうになっている。検討いただく内容ではないか。

～ 基本施策3 9ページ ～

(委員) 広く関係者が集まって文化創造都市を理念のもとに育成という中で、利他志向というか、こういう時代に生まれてきた価値観によって生まれる文化創造をしていくことが必要。有機農業であっては安心安全といったような、それぞれの部門でできる地域づくり、できる施策はいかなるものか。

(事務局) 事業展開するうえで、あまり鳥瞰的に捉えていくと、肝心な文化を子どもたちや地域の皆さんがつくりあげていくのかといったところがぶれてくる。

本来のやらなくてはならないことが薄れてしまうので、あまり大きなテーマをもとに立ち上げていくのはいかなるものか。

(委員) 今後課題で付け加えていただくのであれば、いろいろな文化活動を集約できる仕組みがあると良い。

(会長) それは情報集約ですか。

(委員) 一つは情報集約です。上田市で、今何時にどこで何が行われているのか、情報が得られにくい。一つのそのような窓口があることは大きい。

(事務局) それにプラスで、コーディネートする機能もあれば。

(委員) 今年1年は、サントミュージアム開館事業として幅広く利用されている。それを集約し、利用者の感想、提案がほしいので、御検討いただきたい。

(会長) 近々の課題ではあるが、どこかで情報集約し発信していくことは大事なので、展開方向の一つに入れてもらいたい。

(委員) 長野市で文化会館ができ、文化財団がある。財団があれば公開ができるし、バックアップにより、小中学校へのアウトリーチが協力できる。小学校の図工は困っておりまして、県の美術展でもあがってこない学校もある。現場の先生方の指導面で不安がある。文化財団など上田市でどのように上手く取り込んでいくのが課題である。

(事務局) アウトリーチについて、財団でも市直営でも同じである。現に、1年ほど前から市内25

の小中学校の5年生クラスを中心にアーティストを呼んだりワークショップしたり音楽活動したり、9公民館で実施してまいりました。財団でなくても実施しておりますし、今後も実施してまいりたい。情報の収集について、他市でも抱えて問題であり、国のほうからも情報一元化と書いてあるように、長野県市長会を通じて阿部知事のもと（長野県の県民文化課）へ推進して欲しい旨の提案をしている。

（会長）情報収集も必要だが、情報発信も大事である。

（事務局）サントミュージゼの課題と今後の施策について、津村委員から長文をいただいておりますが、次回の資料として送付します。

（委員）海外、特にアメリカなど美術館ではボランティアの方がサポーターとしてかなり入っている。サントミュージゼでそのような制度をつくれれば、人的問題も解消できる。

（事務局）既に昨年度からサポーターを募集している。昨年度から引続き30名、今年度新規の方が13名の43名あります。サポーターも何をしたら良いのか、こちらからも何を願ったら良いのかという状況でしたが、ようやく何をしたら良いのか見えてきた。美術館でもグループがあり、お手伝い等お願いしている。

（会長）10ページの展開方法の中の市民サポーターの充実という点で提案いただきました。汗を流すだけでなく、頭脳のほうも必要ではないか。

（委員）これから10年後を見据えてということで、素晴らしいホールで、全国的にも音響など誇れるホールであります。いろいろなアーティストが利用し、収益のあがる運営と、地域の方や学校の人たちも大事にしてもらいたい。また、企業でやっていない、上田市だからこそできる事業をやっていただきたい。

（事務局）バランス良く入れる必要があると感じているが、稼働率80%となっており、申し訳ありません。いつ予約がとれるか確約はできませんが、貸館としてご利用いただきたい。

（会長）予定の時間も近づき、残っている文化財について次回でよろしいでしょうか。

（事務局）3・4ページに記載以外に。

（委員）図書館のことについて記載が少ない。図書館自体は老朽化が進んでいる。

（事務局）図書館も社会教育施設です。いずれ博物館、上田図書館の建て替えを踏まえて、加えるようにします。

（会長）伝統芸能、御神事は見ていただけると励みにもなる。

## （2）上田市文化芸術振興に関する基本構想について（たたき台） 資料6

（会長）次回冒頭の20分くらい審議いただき、本来の3回目の審議に入っていきたい。特に、ふるさと偉人館等の話もでてきていますので、よく考えてきてもらいたい。資料6は次回で協議します。

### 5 事務連絡

第3回策定委員会の日程について 次回 10月28日(水)午前10時から12時 同会場

### 6 閉会（児玉会長）